

ボランティア登録制度の設計

2018/12/19

(NPO) エコデザイン市民社会フォーラム

1

環境学習施設の必要性と目指す姿は次のとおりです。

施設規模の縮小(ごみ減量化の推進)

新環境クリーンセンターは、現環境クリーンセンターの300t/日から250t/日に規模を縮小しており、ごみ減量化を継続して推進する必要性



協働の推進

ごみ問題等の環境問題の解決のためには、市民、企業、行政がともに目的を共有して協力関係のもとでの取り組みが不可欠

循環型社会・低炭素化社会の形成

Reduce (ごみを減らす)、Reuse (何度も使う)、Recycle (使えなくなったものは資源にもどす)の環境にやさしい3つの活動(3R)を推進することで、循環型社会・低炭素化社会の形成に貢献

3Rの工夫を発信し、市民、企業、行政が協働して環境問題に取り組むための拠点の整備が必要に



地域の発展や活性化に寄与

新環境クリーンセンターは、単なるごみ焼却場ではなく、環境学習・環境啓発を通じて地域の発展や活性化に寄与

2

運営概要

項目	エコット	まちセン	コミュF	環境学習施設
休館日	月曜	第3日曜日 市民サービスコーナーは土日・ 祝日・振替休日	年末年始を除き無休	現在 検討中
開館時間	9時～17時 予約があれば21時	午前8時30分から午後 9時30分 使用時間は午前9時 から午後9時15分	月曜日～土曜日 10時～22時 日曜日・祝日 10時～17時	
施設内容	展示室 多目的室（200人） WSR、調理室	多目的室、会議室、 和室、調理室など ※地区により異なる	印刷室、ロッカー・メール ボックス、ミーティング コーナー、交流サロン コミュニティFMコーナー	多目的室、実習室、 キッチン、修理工房、 リユース食器保管ス ペース、V室など
料金	無料	無料	無料	検討中
事務局	業務委託 NPO職員8人程度	直営 職員3～5人+シルバー	指定管理 職員10人（正規2人）	指定管理 職員数検討中
案内	市民インタープリター	—	—	市民（できれば）
活動内容	①利用の受付 ②展示室の案内 ③クリセン案内 ④出前講座 ⑤イベント出展	生涯学習講座 市内の方（5人以上）が行 事や集会、学習会などを行 う場合に使用	格安印刷・大判印刷 NPO設立・運営相談 イベント開催支援・相談 会議室・多目的スペース 講座・セミナー開催	家具の修理再生、利用 受付、展示案内、各種 講座など（3R協働活 動）

3

活動範囲



4

市では環境学習施設において、市民、企業、市が協力して3Rへの取り組み(3R協働活動)を行うことを目指しており、活動の目的と基本方針を定めています。

活動の目的
環境に関心を持ち、実践する市民の育成

基本方針①
環境への関心を持つ
きっかけづくり

基本方針②
環境をテーマとした
賑わいと活力づくり

基本方針③
自ら実践する
市民の育成

基本方針④
地域の自然環境を
愛する気持ちの育成

5

市民の活躍の機会（かかわる人みんなが主役）

- ① 一般来場者（グリーンセンターの見学や展示の体験）
- ② 施設利用者（キッチン、実習室を利用、多目的室等を利用して、サークル活動的な環境学習・活動に取り組む：事前予約制）
- ③ 施設を案内する活動者（グリーンセンターや学習施設の案内を行う）
- ④ 修理工房の職人（シルバー人材センターの活躍の場のひとつ）
- ⑤ スタッフ（①～④の伴走者でもあり自己実現と重なる）

※①～⑤市民が主役の施設運営を行う

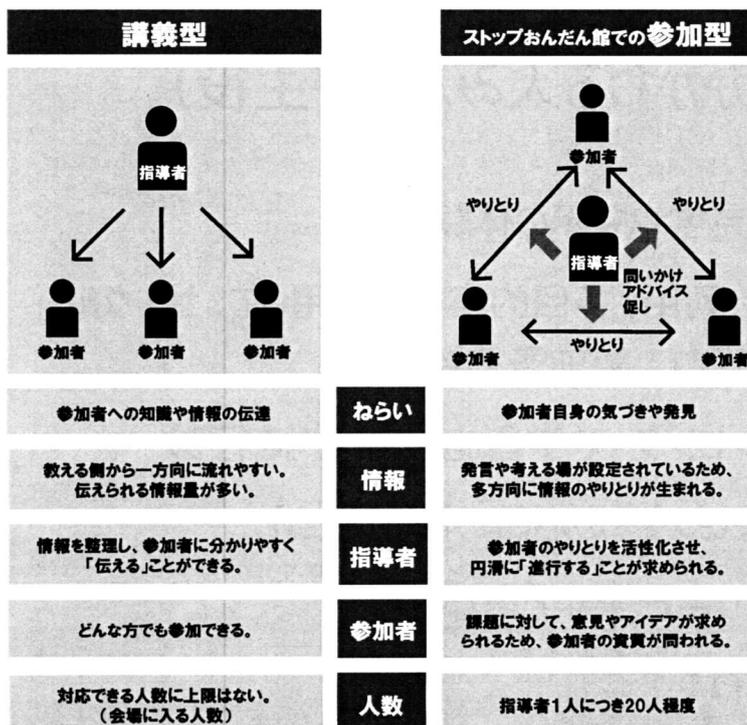
6

施設を案内する活動者（参加型の学び）

インタープリテーション方式

- ①来館者の案内（展示スペースやクリーンセンターの案内）
- ②小学4年生のごみ処理に関する学習（個人・団体の見学案内）
- ③施設利用者の諸室への案内や備品の準備、使い方のアドバイス
- ④新環境クリーンセンターに関する出前授業
- ⑤イベント等に出展してPR活動

市民が市民に伝えることで3R協働活動を広げる



- 「参加型」の学びは、講義を聞いたりVTR や解説を見るときといった受動的な学び方とは異なり、何らかの体験をしたり、自分で考えたり、意見を言ったり、他の人と情報交換したりしながら、参加者が主体的に学びとっていく場を創出する。
- 情報の流れは指導者→参加者の一方通行ではなく、指導者⇄参加者、時には参加者⇄参加者にもなり活発にやり取りされる。この双方向のコミュニケーションの中から、さまざまな学びや気づきが引き出される仕組みである。

ストップおんだん館より

例えば…

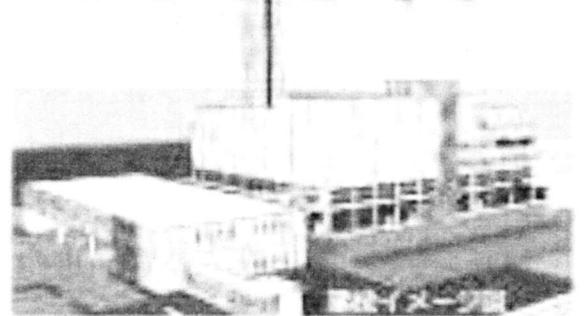
現環境クリーンセンター施設規模

300t/日

こみ減量化

新環境クリーンセンター施設規模

250t/日



9

インタープリテーションとは

- フリーマン・ティルデン

「単なる情報の提供でなく直接体験や教材を通し、事物や事象の背後にある意味や関係を明らかにすることを目的とした教育活動」

「解説者の感性を媒介にして情報を提供し、来訪者に今までとは異なった次元を開いてみせること」

- サム・ハム

「インタープリテーションはシンプルに言えば、コミュニケーションのアプローチである。インタープリテーションの中には、自然科学などの専門的な事柄を、専門外の人たちが理解できるように分かりやすく翻訳して伝えることが含まれているが、同時にそれらを、人々が楽しみ、興味を持てるような方法で行うということも含んでいる。」

- ハロルド・ウィリアムス

「インタープリター自身が感じている環境の美しさ、複雑さ、多彩さ、相互関係に対する感受性や驚きの感覚を、来訪者が感じるのを手助けすること」

- 小林 毅

「究極のインタープリテーションは何も語らないこと・・・」

10

百聞は一見にしかず
百見は一考にしかず
百考は一行にしかず
百行は一果にしかず

11

活動の要件

- 人と接することが好きな人（苦手でもやる気がある）
- ボランティアであること（自発的な活動）
- 月1回以上活動する
- 1日4時間程度のシフト制活動（午前、午後）
- ボランティア育成講座を修了する（6回程度）

12

ボランティア育成講座概要

- 対象者に合わせたインタープリテーション
→小学4年生のごみ処理施設見学を土台に
- 講座を通して、知識、体験、経験、仲間づくり
- グループで学びあい誰一人取り残さない
- 多様な個性、伝え方を尊重する

13

ボランティア育成講座（例示）

回	内容	開催要件
1	基調講演 アイスブレイク（自己紹介）	• 平日昼間 • 1回3時間程度 • 定員20人程度 • 6回程度
2	富士市のごみ処理について グループ分け ごみの減量と分別を伝えるプログラムを考えよう	
3	新環境クリーンセンターについて理解しよう 展示を解説してみよう	
4	環境学習やインタープリテーションを学ぼう 環境学習プログラムを組み立てよう	
5	新環境クリーンセンターの案内を考えよう	
6	新環境クリーンセンターの案内を実際にやってみよう 修了式	

14

ボランティア育成講座終了後

- デビューに向けて「実地研修」を行う
 - ①体験する
 - ②練習する
 - ③やってみる
- 自主トレ

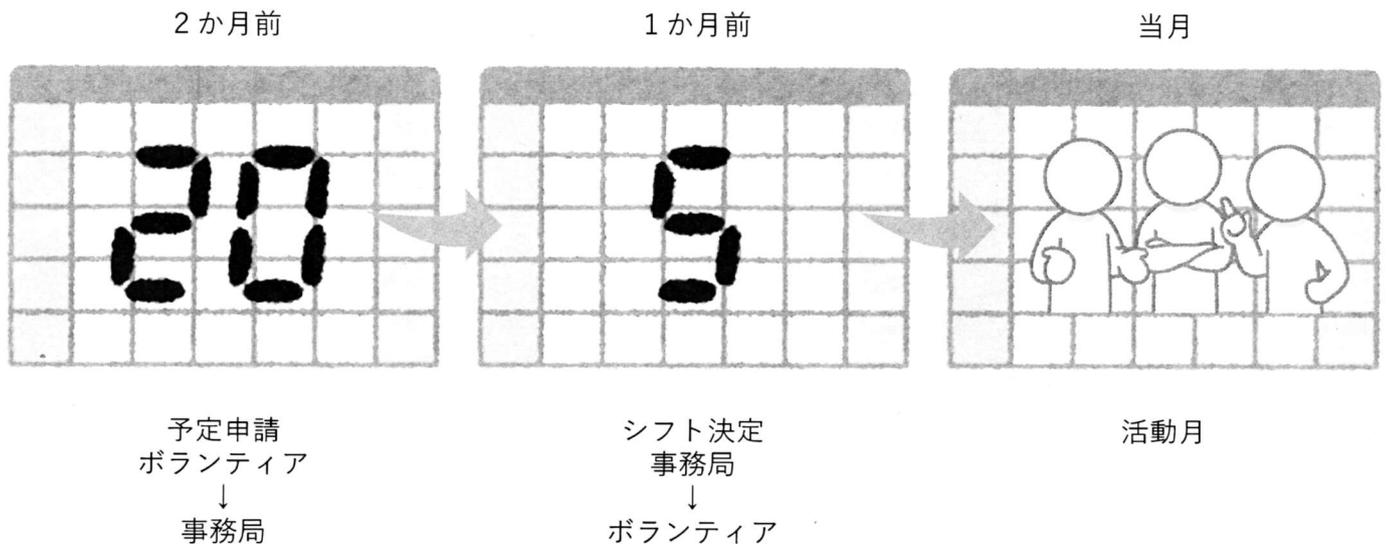
15

年間スケジュール

ステップ ＼時期	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1年目	企画検討			広報・募集			①	②	③	④	⑤	⑥
2年目	研修①②③ デビュー			<育成サポート						育成サポート>		

16

活動シフト調整



17

ご意見お待ちしております！

①求めるボランティア像

(こんな人が案内してくれたらいいな)

②ボランティアに必要な要素とは

(知識、スキル、マインドなど)

③こんなボランティアや案内はイヤだ！

18